



彩の国
埼玉県



埼玉県熊谷家畜保健衛生所

住所 熊谷市円光1-8-30

電話 048-521-1274/FAX048-526-1063

(夜間・休日等は緊急携帯電話に転送)

E-mail k211274@pref.saitama.lg.jp

家畜衛生だより

令和6年11月発行

🚨 福岡県でランピースキン病が発生! 🚨

11月6日、福岡県下の乳用牛飼養農場において、国内では初めて「ランピースキン病」の発生が確認されました。

本病は、感染した牛や、ウイルスを持った吸血昆虫（蚊・ハエ・ダニなど）、汚染された飼料・水・器具等と接触することで感染が成立すると考えられています。

牛飼養者の皆様におかれましては、改めて飼養衛生管理基準の徹底をお願いします。



引き続き下記の衛生管理をお願いします。



- ◆飼養する牛にランピースキン病を疑う症状がみられた場合には、当該牛を群から速やかに隔離し、獣医師又は家畜保健衛生所までご連絡ください。
- ◆出荷等により農場外へ移動させる場合には、健康状態を確認してください。
- ◆平時から蚊、サシバエ等の吸血昆虫の防除を行い、病原体の侵入を防いでください。
- ◆農場や畜舎内に入るヒト・モノ・クルマの管理を徹底し、病原体の侵入を防いでください。
- ◆注射針、人工授精用器具等を使用する際は、1頭ごとに確実に交換又は消毒を実施してください。

ランピースキン病

MAFF
農林水産省

国内で、**2024年11月6日**に発生が確認されました

Point

ランピースキン病は、ランピースキン病ウイルスによる牛の伝染病。主に、蚊、ハエ、ダニの媒介による機械的伝播や、感染した牛の移動により感染が拡大します。感染した牛は、全身の皮膚の結節や水腫、発熱、泌乳量の減少などの症状を呈し、生産性に影響を及ぼします。

ランピースキン病を疑う症状

発熱、鼻汁
皮膚の結節
泌乳量の低下
リンパ節の腫大



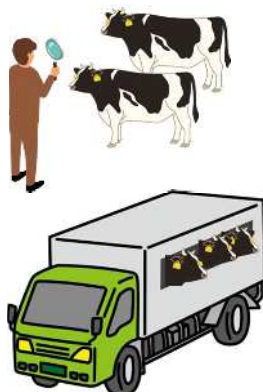
疑わしい場合は
直ちに連絡！

写真提供：モンゴル国中央獣医学研究所
(State Central Veterinary Laboratory in Mongolia)

ランピースキン病の侵入防止対策

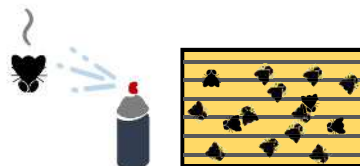
01 毎日の健康観察

早期発見・早期連絡が重要。
疑わしい牛は隔離し、牛の導入、
出荷、移動時は健康観察を徹底。



02 害虫の駆除

殺虫剤の散布とともに、
粘着シート等も活用。



03 清掃・消毒

衛生管理区域内の整理整頓を徹底し、飼養管理に使用する器具や畜舎等の施設は清掃と消毒を実施。